

## 重要取組シート

会計室 出納課

取組項目	収納手段の多様化に向けた取組	
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コロナ禍以降、全国的に行政手続にもデジタル手法の導入が進んだが、市役所や区役所窓口で公金を納付される方も多く、納付書による現金収納の多大なコスト（市民・事業者・金融機関等）が課題となっている。</li> <li>○ 決済のキャッシュレス化は急速に進んでおり、いつでもどこでも利用できるという市民の利便性の向上と、本市及び金融機関の事務負担の軽減が見込まれる口座振替やキャッシュレス収納、コンビニ収納などの更なる推進が求められている。</li> <li>○ 国は、各自治体での eL-QR（エル・キューアール=QR コード決済）を活用した公金収納の導入を進めている。eL-QR 収納は、携帯電話端末などからのキャッシュレス納付が可能となるほか、金融機関の事務負担の軽減や安価な運用が見込まれる。</li> <li>○ これまで、金融機関窓口収納手数料は無料であったが、全国的に自治体に対して金融機関から経費負担の要求がある。本市においても、市民の利便性の向上と将来的な経費負担の軽減のために、口座振替やキャッシュレス収納の拡大が必要となっている。</li> </ul>	
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各公金収納所管課における口座振替やキャッシュレス収納に向けた取組状況を確認し、情報を共有することにより取組の一層の推進を図る。</li> <li>○ 財務会計システムから出力する納付書（市税、国民健康保険料、介護保険料など以外の納付書、以下「一般納付書」）を、令和 8 年度からコンビニ納付やインターネットバンキング対応のものに切り替えるよう取り組む。</li> <li>○ 一般納付書について、令和 9 年度からの eL-QR 導入をめざし、関係機関、庁内及びシステム事業者と調整を行う。</li> <li>○ 庁内各課が取り扱う公金における eL-QR 収納の導入に向け、情報提供やとりまとめを行い、より効果的な運用を検討する。</li> </ul>	
スケジュール	前期 (~9 月)	<input type="checkbox"/> 令和 6 年度の各公金収納所管課における口座振替やキャッシュレス収納に向けた取組・進捗状況の確認、共有 (~6 月) <input type="checkbox"/> 庁内各課が取り扱う公金収納における eL-QR の導入に向け、情報提供やとりまとめ (~9 月)
	後期 (~3 月)	<input type="checkbox"/> 一般納付書を令和 8 年度からコンビニ納付やインターネットバンキング対応のものに切り替えるよう庁内調整を実施 (~12 月) <input type="checkbox"/> 令和 9 年度から一般納付書に eL-QR を導入するため、庁内及びシステム事業者と調整 (~3 月)
	次年度 以降	<input type="checkbox"/> 令和 7・8 年度の各公金収納所管課における口座振替やキャッシュレス収納に向けた取組・進捗状況の確認、共有 <input type="checkbox"/> 令和 9 年度から一般納付書に eL-QR 導入するためのシステム改修について、システム事業者と調整
進捗の状況	前期 (~9 月)	<input type="checkbox"/> 令和 6 年度の各公金収納所管課における口座振替やキャッシュレス収納に向けた取組・進捗状況を確認、共有 (~9 月) <input type="checkbox"/> 各公金収納所管課への eL-QR に係る情報提供及び国への回答のとりまとめ (~9 月)

## (様式 4)

	後期 (～3月)		
2025 堺市基本 計画	該当する 施策	――	
	寄与する KPI	――	目標値（2025 年度） ――
未来都 市SDGs 計画	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 ――	――
	寄与する KPI	――	目標値（2025 年度） ――